令和８年度

運営に関する計画

中間評価

大阪市立神路小学校

（様式１）

大阪市立神路小学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1　学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、「強く 正しく 朗らかに」を校訓に、「豊かな心を持ち、自ら学び、考えたくましく生きる子どもを育てる」を教育目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでいる。

【安全・安心な教育の推進】では、児童の安心・安全の実現のため、教職員が共通理解のもとで児童の指導にあたるとともに、家庭、関係諸機関とも連携して、子どもたちの安心・安全な教育の推進に取り組んでいる。

児童用学校アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目についての肯定的な回答の割合は、学年間で多少に差異はあるものの、概ね目標値には達しているが、学習規律を含めた規範意識については、まだ向上の余地があるため、さらなる取組の推進を行っていく。不登校児童の在籍比率および前年度不登校児童の改善の割合については、学校全体での取組および外部機関との連携を進めており、いずれも前年度と同程度であった。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】では、本市の学力向上支援事業を活用し、教職員の授業力向上のために、研修・研究授業を活性化し、取組を進めている。

令和 7 年度大阪市小学校学力経年調査の結果では、全市目標における意識調査の項目においては、各学年で差異はあるものの、概ね目標に達するか、それに近い数値となっており、一方、国語および算数の平均正答率の対大阪市比をいずれの学年も前年度より２ポイント向上させるには至っておらず、さらなる学力向上の取組が必要な状況となっている。また、スポーツをすることが好きと答える児童の割合が年々減ってきているので、体力を向上させる取り組みも必要である。

【学びを支える教育環境の充実】では、ＩＣＴの活用については、積極的にその活用が進められており、学習者用端末の月間活用率は、いずれの月においても５割程度で８割の目標には達していない。また、食に関する指導や健康に関する指導については、保護者用校内アンケートで肯定的な回答が高い割合を示しており、充実した取組が実施されている。また、年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合については目標値に達したが、教員の勤務時間に関する基準１および基準２を見満たす教職員の割合は、12 月末現在において、基準１ついては 90%、基準２については 97%となっており、取組は進んでいるがまだ改善の余地がある。

読書が好きな児童の割合が年々減ってきているので、読み聞かせや本の紹介などを増やし、読書タイムの時間を確保するなど、読書に取り組む意識を高めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。

（令和６年度 84.2%　R７年度　82.0%）

・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より改善させる。

（令和５年度４人　令和６年度４人　令和７年度３人）

・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を 83%以上にする。

（令和５年度　82.9%　令和６年度 80.7%　R７年度　79.1%）

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

（令和５年度　71.0%　令和６年度 74.0%　R７年度　76.1%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 40%以上にする。

（令和５年度　38.2%　令和６年度 29.5%　R７年度　32.5%）

・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる。

（６年国語、５年６年算数で下回った）

・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

（令和５年度　70.7%　令和６年度 67.5%　R７年度　64.4%）

・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を 90%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を 90%以上にする。

（令和５年度　84.6%　令和６年度 87.0%　R７年度　85.8%）

【学びを支える教育環境の充実】

・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週３回以上と回答する児童の割合を８０%以上にする

・教員の１か月あたりの平均時間外勤務時間を月２０時間以下とする。

・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を７２%以上にする。　（R5 年度　71.3%　R6 年度　65.0%　R7 年度　63.3%）

２　中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。

（令和６年度 84.2%　R７年度　82.0%）

・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より改善させる。

（令和５年度４人　令和６年度４人　令和７年度３人）

・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。

（令和５年度　82.9%　令和６年度 80.7%　R７年度　79.1%）

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。

（令和５年度　71.0%　令和６年度 74.0%　R７年度　76.1%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 40%以上にする。

（令和５年度　38.2%　令和６年度 29.5%　R７年度　32.5%）

・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

（６年国語、５年６年算数で下回った）

・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

（令和５年度　70.7%　令和６年度 67.5%　R７年度　64.4%）

・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を 90%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を 90%以上にする。

（令和５年度　84.6%　令和６年度 87.0%　R７年度　85.8%）

【学びを支える教育環境の充実】

・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週３回以上と回答する児童の割合を７５%以上にする

・教員の１か月あたりの平均時間外勤務時間を月２５時間以下とする。

・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を６６%以上にする。　（R5 年度　71.3%　R6 年度　65.0%　R7 年度　63.3%）

３　本年度の自己評価結果の総括

（様式２）

大阪市立神路小学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した　　B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった　　D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。 （令和６年度 84.2%　R７年度　82.0%） ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より改善させる。 （令和５年度４人　令和６年度４人　令和７年度３人） ・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。 （令和５年度　82.9%　令和６年度 80.7%　R７年度　79.1%） ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 （令和５年度　71.0%　令和６年度 74.0%　R７年度　76.1%）	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【１　安心・安全な教育環境の実現】 ・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 83%以上にする。（学校アンケート 82.8）	B
指標 ・いじめのアンケート調査を定期的（毎学期）に行う。 ・月１回生活指導部会を開くとともに、職員会議時に随時情報を共有する。児童の問題行動について指導の共有化を図る。	
取組内容②【１　安心・安全な教育環境の実現】 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より改善させる。	B
指標 ・スクリーニングシートを定期的に（学期に一回）作成し、不登校児童の実態を調査する。 ・区役所の子育て支援やスクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)と連携しながら問題事象の解決を図る。	

取組内容③【１　安心・安全な教育環境の実現】 ・児童用校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、肯定的な回答の割合を 80%以上にする。（学校アンケート 84.8） 指標 ・「学校生活のきまり」や「学校安心ルール」をもとに全教育活動を通して、規範意識の向上を図る。 ・月目標を設定し、年間を通して継続して指導に取り組む。	B
取組内容④【２　豊かな心の育成】 ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。（学校アンケート 77.6） 指標 ・学級での終わりの会等で「いいとこみつけ」を取り組み、自己肯定感の向上を図る。 ・学習での発表や作品展等で相互鑑賞を行い、感想を伝え合うことで個性や違いを尊重する機会を設ける。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

① 日常的な学級でのトラブルはその都度話し合いを行い解決に努めている。
② スクリーニングシートを学期毎に作成し、SC や子育て支援と連携を取りながら取り組んでいる。
③ 教育活動を通して意識の向上に努めているが、意識がまだまだ足りていない。

④ 経年調査未実施の学年は児童用校内アンケートの「自分にはよいところがあると思う」を集計する

最終評価への改善点

① いじめアンケートの結果を踏まえながら職員会議や生活指導部会で職員間での情報共有を行い継続して取り組む。経年調査未実施の学年は児童用校内アンケートの「学校生活は楽しい」を集計する
② 引き続き気になることがあれば連携・情報共有を行う。
③ 全体への声掛けのみでなく、一人一人にきめ細やかな指導を行う。
④ 「いいとこみつけ」を継続して行うとともに、道徳や机間指導でも一人一人に声をかけて自己肯定感の向上を図る。経年調査未実施の学年は児童用校内アンケートの「自分にはよいところがあると思う」を集計する。

（様式２）

大阪市立神路小学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 40%以上にする。 （最も肯定的・・・令和５年度　38.2%　令和６年度 29.5%　R７年度　32.5%） ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。（６年国語、５年６年算数で下回った） ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 （令和５年度　70.7%　令和６年度 67.5%　R７年度　64.4%） ・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を 80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を 80%以上にする。　（令和５年度　84.6%　令和６年度 87.0%　R７年度　85.8%）	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【４　誰一人取り残さない学力の向上】 ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考えに気づいたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 40%以上にする。（学校アンケート 73.8）	
指標 ・教員全員が公開授業を実施する。 ・児童アンケートにおいて「授業の内容はよくわかりましたか」に対して肯定的な回答の割合を 85%以上にする。（R6　89.9%　R7　83.6%）また、否定的な回答の割合を 10%以下にする（R6　7.8%　　R7　12.7%）（学校アンケート 86.9　，　9.8）	B
取組内容②【４　誰一人取り残さない学力の向上】 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。	
指標 ・学年に応じて自主学習ノートの内容を紹介するとともに、児童アンケート「内容を工夫して自主学習ノートに取り組んでいる」の肯定的な回答を、**前年度より向上**させる。 （R6　55.1%　　R7　50.7%）（児童アンケート 59.4）（保護者アンケート 46）	B

取組内容③【５　健やかな体の育成】 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。	
指標 ・体育器具･用具を整備・活用し、児童が運動に親しむ機会を増やす。 ・校内児童アンケート「自分からすすんで運動をしていますか」の項目で、肯定的な回答の割合について 80%以上をめざす（R5　79.1%　R6　77.9%　R7　78.8%）。また、否定的な回答の割合を 20%以下にする（R6　20.5%　R7　17.5%） （学校アンケート 82.5　，　11.8）	B
取組内容④【５　健やかな体の育成】 ・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を 80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を 80%以上にする。　（学校アンケート 84.8）	
指標 ・食に関する指導の全体計画に基づき食育を推進し、学校アンケートの「食に関する指導の充実」に対して肯定的な回答の割合を 80%以上にし、校内児童アンケート「給食をおいしく、残さず食べている」に対して肯定的な回答の割合を 80%以上にする。 ・アレルギー対応について、必要に応じて研修会の開催や日々の連絡により、安全を徹底する。 ・養護教諭・栄養教諭と連携し、健康に関する指導をすすめる。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

① 学習活動の中で、グループトークやペアトークなど取り入れている。友達の発表を聞く態度は向上している。
　教員の研究授業・公開授業も計画に従って実施している。
② 自主学習ノートは学年の実態に応じて取り組んでいる。内容が工夫されているノートは紹介するなどして、他の児童の参考にできるようにしている。
③ 体育科の授業で、いろいろな器具や用具を活用して、運動する機会を設けている。
　みんな遊びをするなど、体を動かす機会を持つようにしている。
④ 計画的に栄養や健康に関する指導をしている。給食は食べられる量の調整をして、残さず食べることができている。
　年度初めのアレルギーに関する研修会では、児童の実態に即して行い、教職員の共通理解を図った。

最終評価への改善点

① 話し合う活動を増やし、考えを形成できる児童の育成に努める。
② 自主学習の意欲を引き出せる工夫をする。
③ 体育器具の補充をし、活用できるように整備を進める。二重とび練習台などの拡充が必要である。
　体育の導入などですぐできる運動を取り入れていく。休み時間に使えるボールの数を増やす。
④ 指導、取り組みを継続する。

（様式２）

大阪市立神路小学校　令和８年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週３回以上と回答する児童の割合を７５％以上にする。 ・教員の１か月あたりの平均時間外勤務時間を月２５時間以下とする。 ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を６６％以上にする。　（R5 年度　71.3%　R6 年度　65.0%　R7 年度　63.3%）	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【６　教育ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 ・小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週３回以上と回答する児童の割合を７５％以上にする。 （学校アンケート 66.1）	C
指標 ・心の天気を日々入力する。 ・デジタル教材などの活用を週３回以上実施する。	
取組内容②【７　人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教員の１か月あたりの平均時間外勤務時間を月２５時間以下とする。 （９月まで　15 時間 14 分）	B
指標 ・ゆとりの日を週に１回実施する。	
取組内容③【８　生涯学習の支援】 ・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を６６％以上にする。（学校アンケート 61.7）	C
指標 ・月に一回は読書タイムで本の紹介や読み聞かせを行う。 ・学校司書と連携を図り、図書開放等で本に接する機会を増やす。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
① 全学年取り組める状況になっているが、タブレットを持ってくる習慣がついていない。 写真を撮影するなどタブレットの活用ができる。今後はスクールタクトの活用。 ② ゆとりの日を週一回設定できている。 ③ 図書館司書の先生と連携をとれている
最終評価への改善点
① タブレットの充電と持ってくるという習慣化が必要　デジタル教材を増やす ② ゆとりの日だけでも、遅く残らざるを得ない職員は管理職の承認を得るなどが必要 ③ 司書の先生との連携を継続　読書タイム、図書の時間などで読書の時間を確保する